

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	1141	給食センター充実事業	会計	01	一般会計
基本施策	31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	款	10	教育費
担当部課名	教育部 学校教育課		項	06	保健体育費
作成者氏名	加納 圭子	連絡先	目	02	学校給食管理費
			細目	101	学校給食管理経費
			細々目	02	給食センター管理運営経費

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	市内全中学校	成果(どうなるのか)	学校給食が実施されます。
	本年度事業内容	1. 給食センターの整備と運営及び維持管理		
運営主体	直営 (委託先:	指定管理	民間委託等	根拠法令・要綱等
市内の類似施設	伊賀市給食センター設置条例			

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.34	1	1
	人件費合計(A)	2,448	7,200	7,200
支出内訳 (千円)	事業費(B)	21,975	5,415	83,415
	委託料		195	78,195
	その他		5,220	5,220
	合計(A+B)	24,423	12,615	90,615
財源内訳 (千円)	特定財源			
	国県支出金			
	受益者負担			
	その他特財		360	360
一般財源	24,423	12,255	90,255	
上記 ~ に関する特記事項 平成19年度、給食センター設置により、市内38小中学校において、学校給食を実施する計画です。				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
センター方式による中学校給食の実施	食						2,700

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
中学校給食の実施食数	中学校給食の1日の実施食数	食	目標 ()		2700
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

伊賀市の学校給食については、小学校26校、中学校12校で実施しています。そのうち、阿山地区と大山田地区においては、センター方式によるものです。しかし、上野地区の中学校は、未実施であるため、平成19年度から、中学校給食をセンター方式によって実施する計画が進んでいます。市として、小学校は自校方式で、中学校はセンター方式で学校給食を実施していく方向です。

評価	必要性	4	平成18年度、中学校6校が給食未実施の状況です。阿山、大山田に続いて、新たな給食センター設置により、伊賀市内学校給食完全実施となり、給食の時間を授業の一環として位置づけ、学校給食を通して食教育の充実を図ることができます。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		